

2017年度

(2017年4月1日～2018年3月31日)

決算説明会

岡本硝子株式会社

(JASDAQ 7746)

2018年5月24日

連結財務・業績の概況

- ・損益計算書の状況
- ・貸借対照表の状況
- ・キャッシュフローの状況
- ・売上高・利益の推移
- ・営業利益の増減要因
- ・セグメント別売上高

損益計算書の状況(連結)

(単位:百万円・%)

	2016年度		2017年度		前年度比	増減 %
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	5,344	100.0	5,790	100.0	446	8.3
うち光学事業	3,674	68.8	3,746	64.7	72	2.0
販売費及び 一般管理費	1,271	23.8	1,317	22.7	46	3.6
営業利益	147	2.8	212	3.7	65	44.2
経常利益	66	1.2	106	1.8	40	60.6
純利益	43	0.8	83	1.4	40	93.0

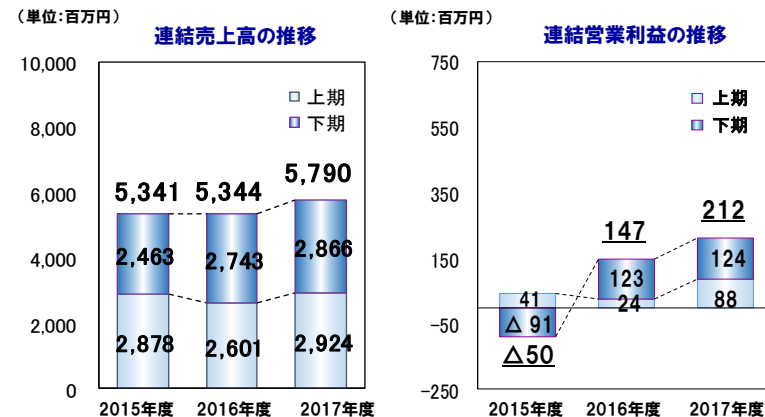
貸借対照表の状況(連結)

(単位:百万円)

	2016年度末	2017年度末	前年度末比
流動資産	2,739	3,313	574
固定資産	3,888	3,959	71
資産合計	6,627	7,272	645
流動負債	1,820	1,902	82
固定負債	3,397	3,185	△212
負債合計	5,217	5,087	△130
純資産合計	1,410	2,185	775
負債・純資産合計	6,627	7,272	645

売上高・利益の推移(連結)

ガラス熔融炉主力2基の炉修に伴う費用増に対し、
売上増、コスト改善により 営業利益 前年度比 65百万円改善



キャッシュフローの状況(連結)

(単位:百万円)

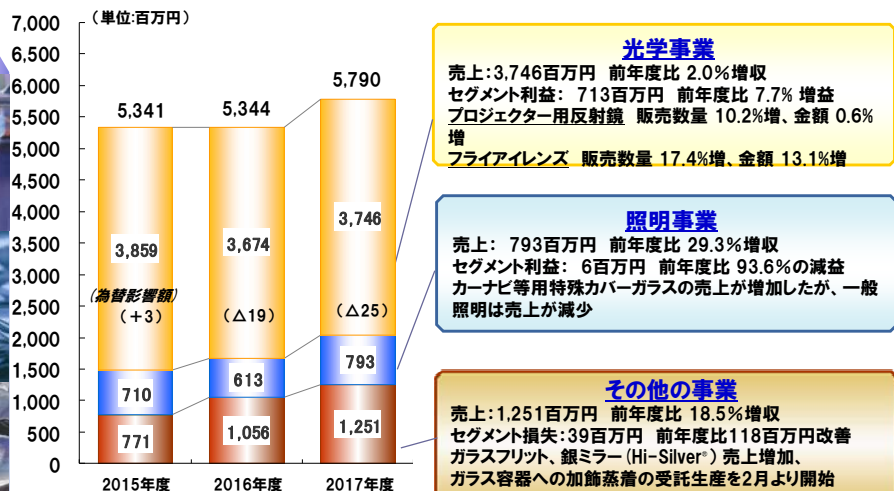
	2016年度	2017年度	前年度比
営業活動による キャッシュフロー	192	72	△120
投資活動による キャッシュフロー	△280	△409	△129
財務活動による キャッシュフロー	△121	512	633
現金及び現金同等物 期末残高	569	744	175

注力事業の状況

「固体光源対応商品の展開」

- ・既存事業
プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ
- ・新規事業
フリット、機能性薄膜

セグメント別売上高(連結)



注力事業の状況

固体光源対応商品の展開



固体光源 高輝度化への課題:
「耐熱性」、「耐候性」、「長寿命」等
樹脂からガラスへの回帰が進む

注力中の固体光源搭載商品への展開(例)

高輝度プロジェクター向け ・光学系各種ガラスレンズ ・蛍光体ホイール用 「Hi-Silver」等	自動車インテリジェント・ヘッドライト向け ・前照灯ガラスレンズ ・前照灯向け蛍光体ガラス等	屋外照明等の大型・特殊照明向け ・照明反射鏡用 「Hi-Silver」等
--	--	---

既存事業

プロジェクター用反射鏡・フライアイレンズ

プロジェクター用反射鏡



販売数量 前年度比 10%増

フライアイレンズ



販売数量 前年度比 17%増

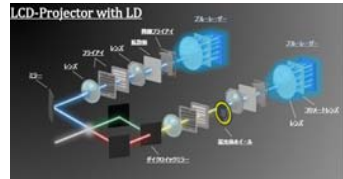
プロジェクター市場は全体としては伸び悩みの状況であるが、主要顧客の新モデル立ち上げ等に伴う需要増に伴い販売増加

固体光源対応

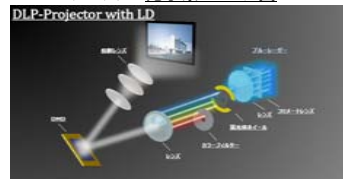
固体光源プロジェクター用レンズ

固体光源用レンズ部品の展開拡大

LCD(液晶)プロジェクター-光学系イメージ図

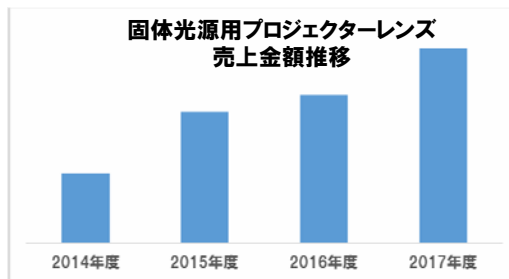


DLPプロジェクター-光学系イメージ図



*光学系イメージ図は当社作成のイメージ図で、実際の光学系デザインを示すものではありません。

固体光源用プロジェクターレンズ 売上金額推移



- ・当社独自の高耐熱性レンズにより、光源の高出力化に対応
- ・顧客ニーズに対応した技術開発力
- ・プロジェクターマルチレンズ シェア約75%の実績に基づく安定した品質と信頼性

新規事業

ガラスフリット

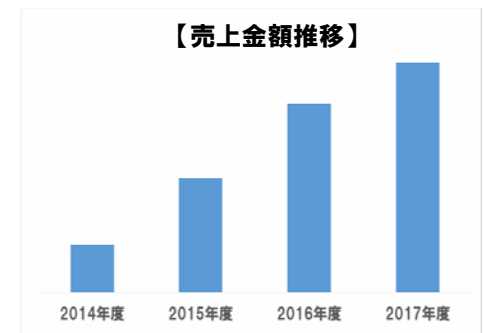
太陽電池セル向けフリット商品の販売拡大

太陽電池セル向け

固体光源用部品向け

電子材料向け

【売上金額推移】



新規事業

ガラスフリット

<太陽電池セル向け>

クリーンエネルギーの高効率アウトプット

(新型) 高変換効率太陽電池セル向け

- ・アルミニウムペースト用フリット商品

⇒ 生産量1,000kg/月超 → 2018年度:1,500kg/月へ増産を計画

- ・銀ペースト用フリット商品

⇒ 海外ペーストメーカー向け量産出荷開始 2018年度:出荷量2倍を計画

<固体光源用部品>

PiG (Phosphor in Glass : ガラス封止蛍光基板)

圧倒的な明るさを追及する“レーザー光源プロジェクター”

- ・PiG製品による高信頼性の確立

⇒ 評価進行中。当社Hi-Silver®との複合化商品が好評

安全を追求する“自動車照明”

- ・PiG製品による高信頼性の確立 ⇒ 評価順調に推移。2~3年後の量産化を目指す

安心・安全を提供する紫外線洗浄

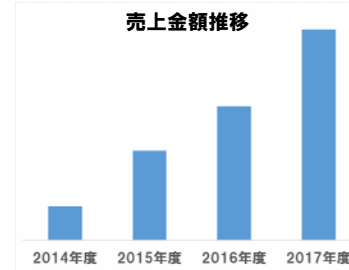
- ・高反射 高耐熱 高耐光性インク ⇒ UV LED用高反射レジストインク量産出荷開始

新規事業

機能性薄膜

商品展開分野の増加により売上拡大

- レーザー光源プロジェクター部品 蛍光体ホイール向け
3件量産開始 (2017年4月、2018年3月×2件)
- 歯科用レーザーメス向け 1件量産開始 (2017年5月)
- ガラス容器への加飾蒸着 1件量産開始 (2018年2月)



Hi-Silver®
高反射・高耐久性銀ミラー
日本・台湾で特許取得



新規事業

機能性薄膜

ガラス容器への加飾蒸着 量産開始



多層膜技術
応用展開



- 反射鏡用多層膜技術を応用
- ガラス側面全周を虹色に加飾
- 加飾蒸着大量生産対応

トピックス

海洋・特機 江戸っ子1号、耐圧ガラス球/耐圧ガラス容器

- テクノオーション2018 ……海洋の科学技術に関する国際コンベンション
(2018年5月28日~31日、神戸コンベンションセンター)
タキオニッシュホールディングス株式会社様のブースにて、
江戸っ子1号が展示されます

- 海洋関係の計測器製造、販売を行っている株式会社ソニック様では、
ガラス球を使用した光学センサ装置を開発し、ガラス球には当社の透明度
の高いガラス球をご使用いただいています



当社ガラス球 各種センサ実装時
(株)ソニック様ホームページより

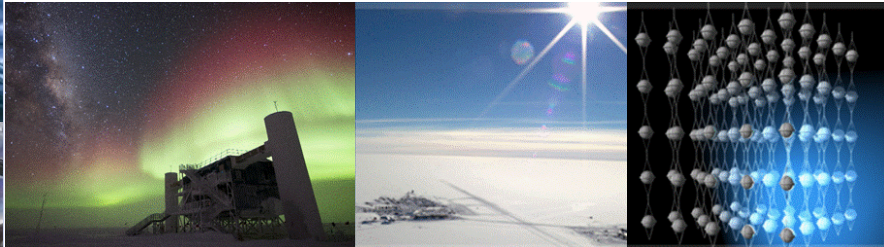
*株式会社ソニック様は、タキオニッシュホールディングス株式会社様の関連会社です

トピックス

- 千葉大学ハドロン宇宙国際研究センター様が開発されている南極点で行われている「アイスキューブ」(*)高エネルギーニュートリノ観測実験の次世代施設となる

「IceCube-Gen2(アイスキューブ ジェンツー)」の検出器に当社の耐圧ガラス容器をご使用いただくことになりました。

(*)：12ヵ国・48機関による国際共同実験。千葉大学ハドロン宇宙国際研究センター様は、日本からは唯一の研究機関として参加。



千葉大学 ハドロン宇宙国際研究センター様ホームページより

トピックス

その他 トピックス

- 「精密かつ複雑な立体形状を有するガラス製光学部品」を成形する方法を開発（特許出願済み）
固体光源化に伴い レンズ形状品や光学部品の高精度化・複雑形状化が進んでいることに対応するガラスの成形用金型及びその金型を用いたガラスの成形方法
- 高反射・高耐久性銀ミラー Hi-Silver®が商標に続き特許取得
台湾で特許登録(17年10月)、日本で特許登録査定(18年4月)となり、中国でも特許出願中
- 「Holo-Window の技術開発」(*)において、研究開発の加速化を目的として東京大学柏キャンパスの生産技術研究所千葉実験所内に、本研究開発専用の研究室が設置されました(17年8月)

(*) 「Holo-Windowの技術開発」は、株式会社エガリム様、東京大学生産技術研究所様と開発推進中

2018年度に向けて

- ・2017年度 経営施策レビュー
- ・2018年度 経営施策
- ・2018年度 業績予想

2017年度経営施策レビュー

1) 安定供給・増産へ向けたガラス熔融炉「炉修・稼働」の実行

既存主力(反射鏡・フライアイレンズ)事業の継続安定供給と、展開中の固体光源向け商品生産体制を増強

・フライアイレンズ 及び 固体光源向けガラス商品用炉 <柏>
(2015年 6月～ 休止中)

2017年11月1日～ 生産再開し順調に稼働中

・反射鏡(アルミノシリケートガラスモデル) 専用炉 <新潟>

2017年 8月～10月炉修実施

2017年11月6日～ 生産再開し順調に稼働中

2) 経営、オペレーションの変革・改善活動

・経営体制強化

コスト分析に基づく改善対策、販売戦略・事業戦略の策定、設備投資等の計画実行管理など株式会社経営共創基盤と協同で推進

・生産性改善推進

生産現場改善のコンサルタント指導の下、KPI管理の拡充、生産現場改善を実行し、直行良品率改善や付帯作業時間削減等を実現

・間接部門業務、製造部門における間接業務の業務効率化

ITコンサルタントの指導を得ながら、業務プロセスの改善・再構築を行い、新たに導入するシステムを決定し機能要件詳細化を実行中

3) 当社ホームページ全面リニューアル (2017年11月)

英語版ページ追加(2018年3月)に加え、中国語版ページも現在準備中(2018年7月予定)

ホームページの利便性を高め、当社商品を積極的にアピールしていきます



引き続き、経営、オペレーションの改革・改善活動を推進します。

- 1) 固体光源用商品、フリット、機能性薄膜など新規事業商品の売上拡大に向けた開発・製造に係る設備投資
- 2) 売上拡大、コスト低減を実現するグループ全体での柔軟で効率的な生産体制の構築
- 3) 間接業務の業務効率化に向け新たなシステムの導入を2018年度下期より順次開始

前年度主力ガラス熔融炉2基の炉修投資等による費用増に対し、新規事業の売上拡大、コスト改善を進め利益水準を維持

(単位:百万円)

	2016年度実績	2017年度実績	2018年度予想
売上高	5,344	5,790	6,000
営業利益	147	212	200
経常利益	66	106	100
当期純利益	43	83	70

	2016年度実績	2017年度実績	2018年度予想
有利子負債額*	4,016	3,850	3,900
自己資本比率	21%	30%	31%

*リース債務を含む

本日は当社説明会へ
ご出席いただきありがとうございました。
今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。

岡本硝子株式会社

(注)スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場
動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、
異なる結果となる可能性を含んでおります。このため弊社は
今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものでは
ありません。